

煙草の
害について

伊藤哲哉一人芝居

白鳥の
歌

アントン・チェーホフ
作



2013年10月15日(火)・16日(水) 会場：プーク人形劇場

出演：伊藤哲哉 東京藝術大学音楽学部有志 東京トロイカ合唱団

後援：ロシア文化フェスティバル 日本組織委員会 よこすか未来塾 伊藤哲哉浦河応援団

白鳥の歌×煙草の害について

伊藤哲哉一人芝居

◆あらすじ◆

「煙草の害について」

女子音楽学校経営者の夫であり恐妻家の初老紳士が講演を依頼され、妻の命令で「煙草の害について」と題して話をすることに。初めのうちは原稿丸読みだったのが、やがて熱を帯びてくると、話はどんどん脇道にそれていき、ついには自らの人生を顧みる。妻への不満、若かった頃の思い出そして後悔・・・誰にでもある人生の悲哀を感じさせながらも、喜劇として楽しめる作品。

「白鳥の歌」

田舎劇場の夜更け。老齡の喜劇役者は、終演後の楽屋で酔いつぶれて眠り込んでいた。誰もいない薄暗い劇場で自分の失態に気づいた老優は、ふと自分に老いを感じた。そして老優は切迫した思いを吐露。やがて、役者としての幻の絶頂期を取り戻そうとするかのように、かつての役を演じ始める。シェイクスピアなど人生を示唆する珠玉の台詞、そして明日も舞台に立つであろう俳優の後姿になにが映るのだろうか？

歴史上かつてないほど人類は長生きするようになり、老いとうどう向き合うかは誰にとっても大きな関心事です。様々な喪失を経験するからこそ、味わう事のできる機微もあり、いかに老いるかはまさに千差万別です。老いとうどう向き合っていくかの答えは、人それぞれの内にあり、すべての人にとっての正しい答えを導きだすことはできません。

本公演は、100年以上前のロシアの劇作家 A・チェーホフの「老い」をテーマにした二つの戯曲を通して、全ての人の普遍的なテーマについて正面から向き合い、共に感じ合いたいと企画しました。演じるのは、今年 60 才になる俳優伊藤哲哉。身体を通した確かな演技は、チェーホフが見つめたテーマを現代の私達に体現します。また、東京藝術大学音楽学部の学生による弦楽四重奏、東京トロイカ合唱団の参加により、実験的演劇空間を創造いたします。世代を超えて楽しんでいただける本公演は、演劇を通して老いに向き合い社会に問う、そんな上質な公演を目指しております。

作 アントン・チェーホフ 翻訳 米川正夫

出演 伊藤哲哉、東京藝術大学 (Vn 池村理果 Vn 阪永珠水 Va 西野絢賀 Vc 信田夏実)、東京トロイカ合唱団

演出・構成 大江利哉 サウンドデザイン 信田真宏

照明 三上つとむ 衣装 石原叔子 舞台監督 菊地廣 宣伝美術 河原奈苗

企画 YUKI プロデュース プロデューサー 吉岡孝子 協力 プーク人形劇場

【会場】プーク人形劇場 (東京都渋谷区代々木 2-12-3) TEL 03-3379-0234

【チケット】前売 3,500 円 当日 3,800 円 学生 2,000 円 (1ドリンク付)

【チケット申込・問合せ】YUKI プロデュース TEL&FAX: 045-962-1549

伊藤哲哉 Email: itou-tetsuya@e-mail.jp

後援 ロシア文化フェスティバル日本組織委員会、よこすか未来塾、伊藤哲哉浦河応援団

プーク人形劇場



JR 新宿駅南口より徒歩 7 分
都営新宿線新宿駅 6 番出口より徒歩 1 分
大江戸線新宿駅 A-1 出口より徒歩 1 分

主な出演作品

【舞台】「銀河英雄伝説第三章内乱」「銀河英雄伝説第二章自由惑星同盟篇」「銀河英雄伝説外伝オーベルシュタイン篇」「ザ・カワドリー・サムライ」「アイ アム アリス」「どん底 JAPAN1953」「オイディプス王」「ハムレット」「王女メディア」「ニナガワ・マクベス」「近松心中物語」「春」「下谷万年町物語」「オセロ」「決定版・十一匹きのネコ」「小林一茶」「冬の入口」「肥前風土記」「動物園物語」「チェインジ」「ダム・ウェイター」時々自動公演他
【映画】黒澤明監督「乱」「夢」「まあだだよ」佐藤純弥監督「おろしや回廊夢譚」伊丹十三監督「マルサの女」「マルサの女 2」「あげまん」「ミンボーの女」「大病人」林海象監督「良」崔洋一監督「マークスの山」杉田成道監督「ラストソング」森崎東監督「美味しんぼ」小泉亮監督「雨あがる」他
【語り琵琶】「耳なし芳一」「桜の森の満開の下」「牡丹燈籠」
【一人芝居】「ガリバー・ウェハース」平成 24 年度 (第 67 回) 文化庁芸術祭参加公演「おたる遊幻夜会 真面」「遠き橋懸り」他、TV、ラジオドラマ多数出演

伊藤哲哉 (俳優・琵琶法師)
北海道出身、桐朋学園演劇科卒業

2013 年

10 月 15 日 火曜日

19 時 30 分開演 (19 時開場)

10 月 16 日 水曜日

14 時開演 (13 時 30 分開場)

